

# 小山東幼稚園の閉園、前沢保育所の募集停止… 子育て世帯に寄り添う保育体制は？

民報

おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢大手町三丁目  
59番地  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

8月20日に行われた奥州市議会全員協議会では、13件について説明がありました。その中で教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直し案が示されました。日本共産党の佐藤美雪市議は、柔軟な保育の提供体制にすべきだとして、当局の考えを質しました。

教育・保育施設の統廃合ロードマップは、施設の老朽化や定員割れとなった幼稚園を再編し、不足する保育を提供するための再編計画を、具体的に進める時期やその方法を示すものです。

今回、見直し（前倒しで閉園、縮小する）を行う理由として、急激な児童数の減少、予想を上回るスピードで進行する少子化が挙げられ、次の見直し内容が示されました。

- ① 適正な集団規模の形成が困難になる小山東幼稚園の閉園
- ② 定員数が余る前沢地域の課題に対応し、前沢保育所の新規募集停止
- ③ 私立施設で受け入れ可能な水沢地域は、いずみ保育園の0～2歳児の定員を10人減員



待機児童、私的待機へ対応できる体制になっているか？

佐藤美雪議員は、待機児童や家庭の事由で待機状態になっている私的待機の現状について質問し、「子育て世帯の希望に添う保育体制を整えていくことが必要だ」と質しました。

当局は、近年4月時点での待機児童は発生していないこと、私的待機は8月1日現在5名いると述べ、「民ができることは民に」という考え方に立ち、私立施設を補完する役割を果たしていきたい」と述べるにとどまりました。

子育て世帯の希望に添える多様な保育体制整備が必要では！

佐藤議員は、公立と私立保育施設が互いに高め合い、奥州市の保育水準を底上げしてきたことを挙げ、公立保育の役割について質しました。

担当者は、前沢保育所の募集停止といずみ保育園の定員減は、私立での受け皿で十分対応できると回答しました。

佐藤美雪議員

真に保育需要に叶った対応となるのか明確でなく、柔軟な保育体制の整備を求めていくことが必要です。

## 一般質問の日程をお知らせします！

○9月2日(火)13時ごろから

1. 指定避難所へのクーラー設置について
2. 鳥獣被害対策の取り組み状況と今後の対策について



菅原明 議員

○9月3日(水)10時から

1. 柔軟な保育の受け入れ体制と公立保育施設の役割について
2. 学校給食センター調理業務の民間委託方針と児童・生徒への影響について



佐藤美雪 議員

○9月3日(水)15時ごろから

1. 奥州市文化財保存活用地域計画をめぐる諸課題について
2. 加齢性難聴者への補聴器購入補助について



瀬川貞清 議員

○9月4日(木)11時ごろから

1. 中小事業者への最低賃金引き上げなどに対する支援策について
2. 訪問介護事業所の現状と支援について



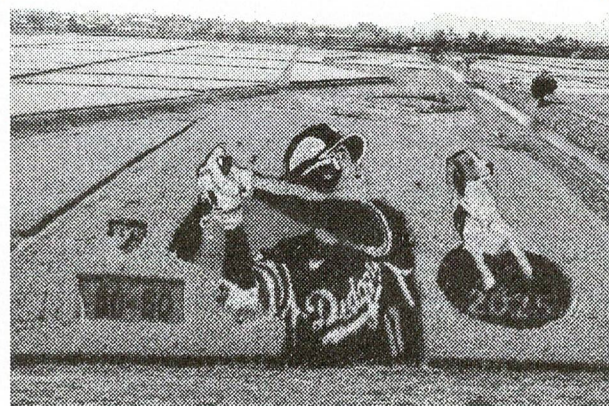
千葉敦 議員

○9月5日(金)11時ごろから

1. 国保税の子どもの均等割の免除と保育料の完全無償化について
2. 低所得者・高齢者世帯へのエアコン設置の支援について
3. 市立医療施設の物価高騰対策としての経営支援について



今野裕文 議員



## 跡呂井田んぼアート♪

赤旗8月21日号の地域発のページで紹介されました！

地域実行委員会のSNSによると、5万人が訪れているとのこと。す。驚き！まだ、間に合います。みなさんも機会があればぜひ♪（水沢常盤地区）